

第3期武豊町総合戦略策定に向けて(課題の整理)
～第1回総合戦略推進本部会('25.09.19)の意見から～

1. 全体構成

○計画をシンプルでわかりやすいものにする。

- ：情報量が多い。国・県の総合戦略、統計データの部分は資料編で整理してよい。
(大府市の総合戦略は20頁程度とシンプルである。)
- ：町として目指すところをよりわかりやすくする。

○AI・DXなどデジタル技術の活用について、しっかりと記載する。

- ：計画(案)では、デジタル活用の部分が見えてこない。抜けている印象を受ける。
(施策を推進する事業の部分に記載はあるが、表に出ていない。)
- ：3つの基本目標に対して、横串を刺すようなかたちで内容を加えるなど、何らかの工夫が必要。

○基本目標と施策の関係を再確認する。

- ：基本目標2(産業振興)の施策④「駅周辺及び公共交流拠点におけるまちづくり」は、総合計画では基盤整備の分野で整理している。

2. KGI・KPI評価

○KGI・KPIはしっかり見直す。

- ：施策に直結しているKPIを設定するよう見直す。
- ：町の施策のKPIとしてふさわしくないものがある。
 - ・「観光協会 Facebook フォロワー数」 Facebook は今は見ない。
 - ・「くるみん」「えるぼし」など国・県の制度知られていない。町のKPIになるのか。
 - ・駅の乗車人数は、町が直接関与できない。
 - ・「家具転倒防止対策事業申請件数」がKPIとしてふさわしいか。 など
- ：頑張れば達成できる目標値にする。

○KPI評価と施策目標達成との関連性、数値だけでは測れない部分を考慮する。

- ：施策目標達成は、KPIの評価だけでは測ることができない部分がある。そこをどう評価するか。
- ：実績評価のところでは考慮して記載すべき。

3. 将来課題

○総合計画と総合戦略の一体化

- ：本町の場合、総合計画と総合戦略の計画期間が合致している。
- ：第7次総合計画策定時の検討課題となる。